

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アポロキッズクラブお花茶屋		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 26日		～ 令和8 3月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	令和8年 3月 17日		～ 令和8年 3月 23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	アポロキッズクラブはどんな活動をするかを明確にしているため、保護者様に理解してもらいやすい。親が求めている運動して体づくりをして欲しい希望に応えている。	体験や見学をいつでもできることを工夫している。 外出をすることで社会を学べる機会を作っている。	SNSなど活動をもっと知ってもらおう。
2	運動を通して、自立に向けたプログラムが作りやすい。運動指導の中であいさつ、返事など運動以外のことも学べる。	運動しながら社会生活に必要なこと(あいさつ、返事など)を伝えていける。急がせる必要なくゆっくり学べる環境がある。	社会生活に適用する中でもっと色々な児童とも関わりを作っていく。
3	小学1年など低学年から利用が始まるので療育内容をゆっくり学べる。できないことがあっても急がせないで必要ならば1年かけて学ぶことができる。	利用者が負担にならないように、できないことがあってもゆっくり学ぼうと伝えるようにスタッフ間で連携をとっている。	利用者が事業所でできるようになったことを家庭でもできるように、保護者様に協力してもらえようとする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	集団活動を中心としているため、個人での活動が少ない。学習時間は取っているが、問題の解き方は教えていない。	集団活動を療育にとり入れているため、利用者様も集団で活動することに慣れている。 学校の指導方法があるので教えるのは難しい。	必要に応じて対応していく。利用者様の気持ちも大事にしながら適切な時間をとれるようにする。
2	利用者様の日々の活動をもっと報告したい。個人情報保護の観点から写真、動画を見せるのに許可等大変なところがある。	連絡帳や送迎時の時に報告はできるが、視覚化できるようにしたほうが伝わりやすい。	SNSで報告をしていく。個人情報保護を配慮しながら視覚化をして活動を報告したい。写真の取り方を工夫する。
3	日々の利用者様の活動を保護者が見に来る機会を作れていない。子供の頑張りを視覚化が足りない。	保護者が仕事をしていたりして見学に来ることが難しい。来なくても兄弟の対応などで時間を作れない。	長期休みなどで来れる時間を事前に聞くことをしていく。 DVDなどで動画を作り、面談などで見せる。